Arachnid specimens of ancient times in Japan

By Masayo Kato

# 日本最古の蜘蛛類標本

加藤正世

私は嘗て「溫古知新」なる表題のもとに，武藏石壽翁が天保年間に作つた色々な“蟲”の標本の目錄と寫眞とを紹介した（昆蟲界 Vol. I, no. 6, 1933)。今回はその內の蜘蛛類だけを御紹介しやう。

此の標本は現在東大農學部に珍藏する處の貴重な標本であつて，その完全寫眞を撮影し所藏して居るのは筆者だけである。

石壽翁作る處の“蟲”の標本は，長さ約一尺五寸，幅約八寸，深さ一寸五分位，六段重ねの桐箱に收められてあつて，各箱の內五箇だけは內部を十五に區切り，一小間毎に，一種乃至二種の“蟲”を饅頭形の硝子容器に綿詰めとしてその底面に紙を貼つたものを入れてあるのである。

六段目の箱は少し深く，中の仕切りも六箇で，大形の標本を入れてある。標本は總て乾式である。乾式と云つても筆者のやつて居る様な科學的のものではなく，單なる乾物であるが，蟲害も被らずにあるので，種別の判斷には差支へない。蜘蛛類乾式標本製作の大先輩に敬意を表しつゝ以下その目錄を揭げやう。

Family **ARGIOPIDAE** **コガネグモ科**

（1） ジョラウグモ *Nephila clavata* L. Koch

Family **HETEROPODIDAE** **アシダカグモ科**

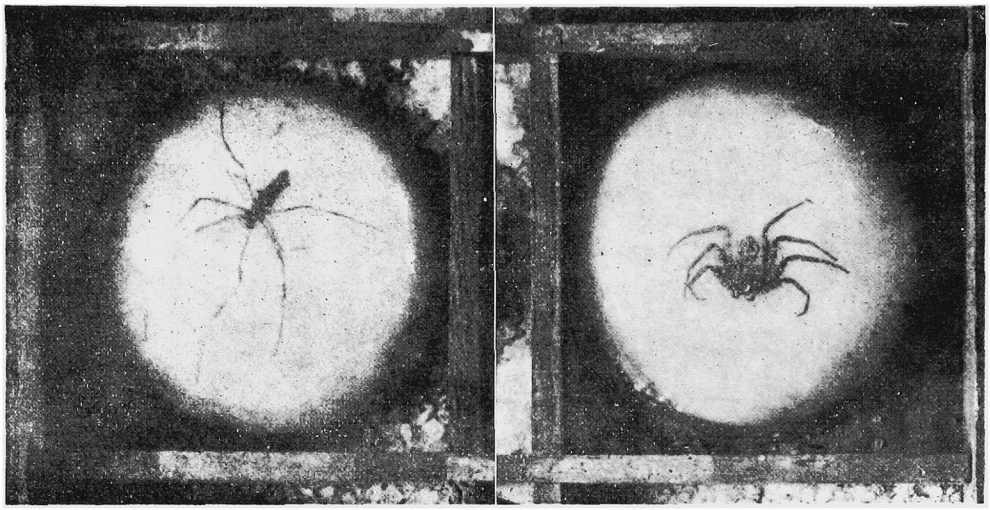
（2） アシダカグモ *Heteropoda venatoria* Linnaeus

以上の他に“全蠍”と云ふラベルが貼つてある。何れはツクシサソリ（キョクトウサンソ）*Buthus martensi* L. Koch が入れてあつたのであらうが，紛失したものらしい。而もサソリは內地には居ないのであるから，支那あたりから藥用として輸入したものであらう。

Plate XIV

# 武藏石壽作蜘蛛の標本

加藤正世



蜘蛛の部分のみを示す。略々實物大。

〔左〕ヂョラウグモ　〔右〕アシダカグモ